



Asflora 便り 2012 年 6 月 25 日 『地球村の森 2012』植樹祭

Asflora（アマゾニア森林友の協会）は、ベネビーデス市 Aimex 種苗センターにて、2012 年 6 月 25 日(月)午前中、『地球村の森 2012』植樹祭を行いました。

参加者は、地元の公立学校、市立テルセイラ・トラベッサ校と州立ジョゼ・ド・パトロシーノ校の 2 校から生徒 80 名（小学校 2, 3 年生）と教員 7 名、アマゾニア農大の学生 2 名、日本から NGO ネットワーク『地球村』の高崎さんと瀧さん、NGO ウータンの石崎さん、ベレン総領事館の阪野領事、群馬の森の岡島さん、平形さん、京都大学研究員のドクター石丸、院生の田村さん、Asflora メンバー 9 名、Aimex 種苗センター職員 5 名、合計 109 名です。



9 時半、Asflora のマルルッシが、生徒たちへの環境授業を開始。「教室の机の下にガムを貼り付けた子、鉛筆で壁にいたずら書きをしたことある子だ〜れ?」、「自然は、人が居なくても成り立つ?、人は、自然が無くても生きてける?」などの質問に、楽しく、元気な答えが返ってきました。



続いて、Asflora 森の劇が開幕。植樹前に、森林管理の基礎も学ぶことができました。



植樹地に“クルピーラ” “マァイ・ナトレーザ（自然の母）” “カシャッセイロ（酔っ払い）” に導かれて、植え方の説明を受けます。



植樹の開始、苗木は千本用意されていました。この日のために、先週末、トメアスー農協の苗畑から 300 本の苗木も入り、樹種を増やしています。



右上是、『地球村』の瀧さん(左)と、高崎さん(右)、リオ+20 に参加した帰りに来てくれました。



この植樹地は、学校生徒たちがすでに2回、植樹をしてくれています。全部で40数種4千本の苗木が2000㎡の土地に植え付けられました。この土地は、条件が悪く、一度植林していましたが、うまく行かなかった箇所です。水はけを良くして、有機質をたっぷり施し、宮脇方式（在来種による混植密植）を行いました。



植樹後、全員で輪になって、Asflora 植樹祭恒例の“Viva Natureza!(自然万歳)”、森の再生を祈りました。

この植樹地の傍には、昨年植樹した『地球村の森 2011』があります。

左下の写真は、昨年4月に植樹した時、右下が、この日、1年2か月後の状況です。

素晴らしい成長ぶりと、『地球村』の高崎さん、瀧さんにとっても喜んで貰えました。





各種種子を飾ったテーブル(右上)で、トロピカルジュースが味わえました。
右上は、Asflora の役員レイラによる、アサイ椰子の葉と房をアレンジした生花です。



植樹後のランチタイム、子供たち、言葉の分からない外人（日本人）たちに、どんどん話しかけてきました。群馬の森の岡島さん、「こんなに伸び伸びして、反応の良い子供達には久しぶりに会えました」と、褒めていました。この子供達に植えて貰った苗木たち、きっとすくすくと育って、本物の森を造ってゆくことでしょう。

植樹して頂いた皆様、準備万端を整えてくれた方々、Aimex（パラ州輸出木材工業協会）、ネットワーク『地球村』、ベレン総領事館、群馬の森の皆様、ありがとうございました。

Obrigado para participantes e coraboradores.

ご協力団体：



*Instituto Amigos da Floresta Amazônica-ASFLORA.
Takushi Sato-Presidente.
Shoji Yamanaka-Vice Presidente.
Marluce Amorim-Coordenadora.*